

ICANN上海会議報告

2002年11月21日
第5回ICANN報告会

(社)日本ネットワークインフォメーションセンター
入交尚子
nao@nic.ad.jp

主な会議スケジュール

期間：2002/10/27 ~ 31 於：中国上海市

10/27 ccTLD 部会会合、政府諮問委員会 (GAC) 会合

10/28 DNSO部会別会合、GAC会合

NEW IPv6ワークショップ

NEW 国際化ドメイン名 (IDN) ワークショップ

10/29 DNSO総会

NEW レジストラ間のドメイン名移転に関する公開討論

DNSO ドメイン名評議会 (Names Council)

ccTLD 部会会合、GAC会合

10/30 一般討論会 (Public Forum)

10/31 理事会

今回の特色 1

IPv6 ワークショップ

- GACの要請を受けて開催
- 参加者は100人超
 - 立ち見がでていた
 - GAC関係者はほぼ全員出席
- 内容 Co-chairs: Paul Wilson/Xing Li
 - IPv6のメリットとIETF標準化状況 (by Geoff Huston氏)
 - IPv6アドレス割振りの仕組みや現状 (by Ray Plzak氏)
 - 日本でのデプロイメントの状況 / 政府施策の効果 (by 荒野高志氏)
- 意義
 - ICANNとしてIPv6を重要な検討項目と認知
 - 各国の政府関係者へインプットできた

今回の特色2

レジストラ間のドメイン名移転に関する公開討論

DNSO総会、レジストラ部会、gTLDレジストリ部会、ドメイン名評議会内の「移転に関するタスクフォース」が合同で開催

- **背景**

- 2001年3月、レジストラ間でのgTLDドメイン名移転に関する問題が表面化（移転の遅延や拒否など）
- 統一した移転プロセスが存在しないことが原因
- DNSOドメイン名評議会がタスクフォースを設置し、プロセス策定に向けて取り組んでいる

- **内容**

- 現状報告
- タスクフォースによる中間報告書（10/20発表）の説明

国際化ドメイン名(IDN)ワークショップ

後半のプレゼンテーションにて紹介

主な理事会決議

ICANN改革：新付属定款を採択

ただし、未決定条項となっている「移行条項」が採択された後に有効となる

国際化ドメイン名(IDN)委員会について

- 2002年12月中旬のICANN年次総会まで存続
- IDN実装に伴う問題に取り組む新委員会の準備要請

LACNICの最終承認

次期CEO探しのための委員会について

VeriSignからの再検討要請について

各種検討部会の設置

- プライバシー問題に取り組む諮問委員会設置の検討
- 理事会自体の運営を見直す委員会設置の検討

新付属定款の主な条項

ICANNの使命および核となる価値

説明責任および組織の見直し（再検討委員会、独立審査パネル）

オンブズマン

理事会

指名委員会

支持組織（ASQ、ccNSO、GNSO）

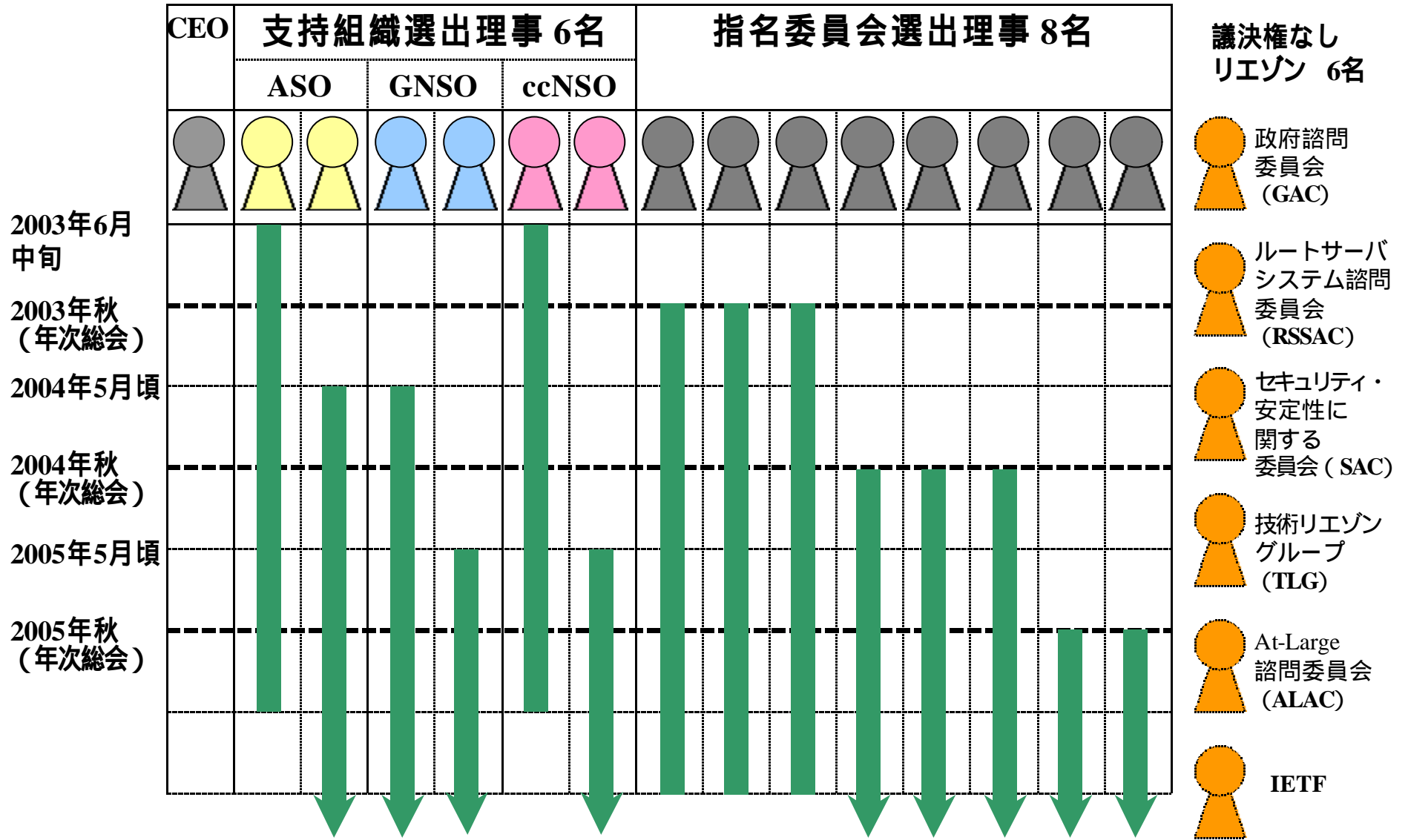
諮問委員会（GAC、SAC、RSSAC、ALAC）

その他の諮問メカニズム（外部諮問パネル、技術リエゾングループ）

未定

移行条項

1. 理事会の構成と就任時期



理事は3年任期、議決権なしリエゾンは1年任期

2. 支持組織

GNSO
(gTLD)

評議会

6つの部会

gTLDレジストリ	ビジネス
gTLDレジストラ	非商用ユーザー
ISP	知的財産権関係者

ccNSO
(ccTLD)

検討中

支援グループを
中心に検討中

ASO
(アドレス)

検討中

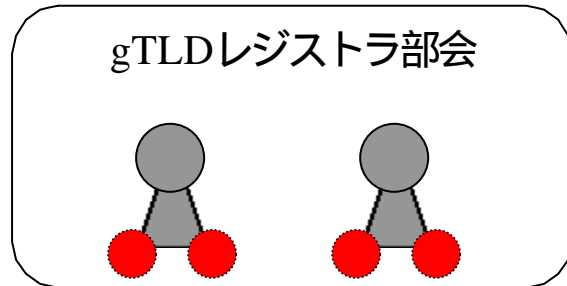
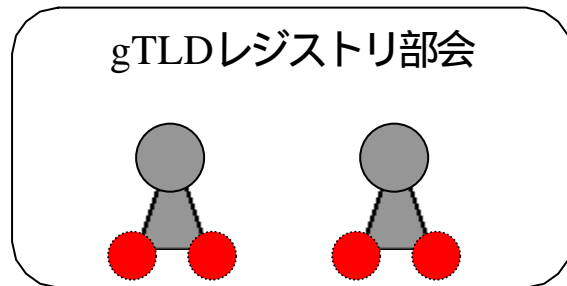
RIRsとの協議
が必要

3. GNSO評議会

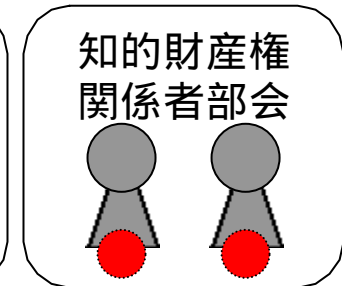
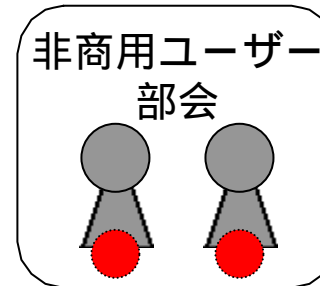
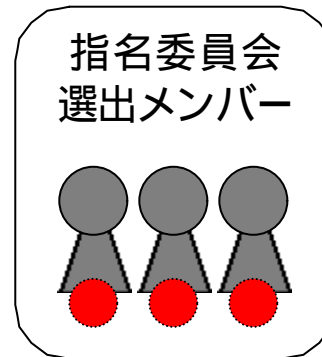
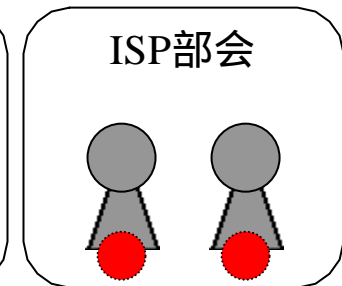
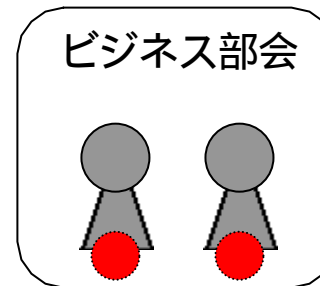
ICANNと契約している組織としていない組織との間で議決権数を均等にする
(「青写真」では「プロバイダー」と「ユーザー」間のバランスを重視)

初年度のみ各部会代表は3名となる予定

< ICANNと契約している組織 >



< ICANNと契約していない組織 >

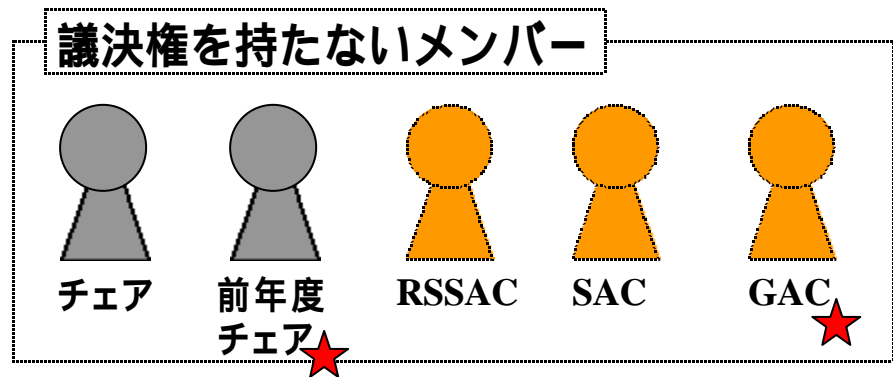
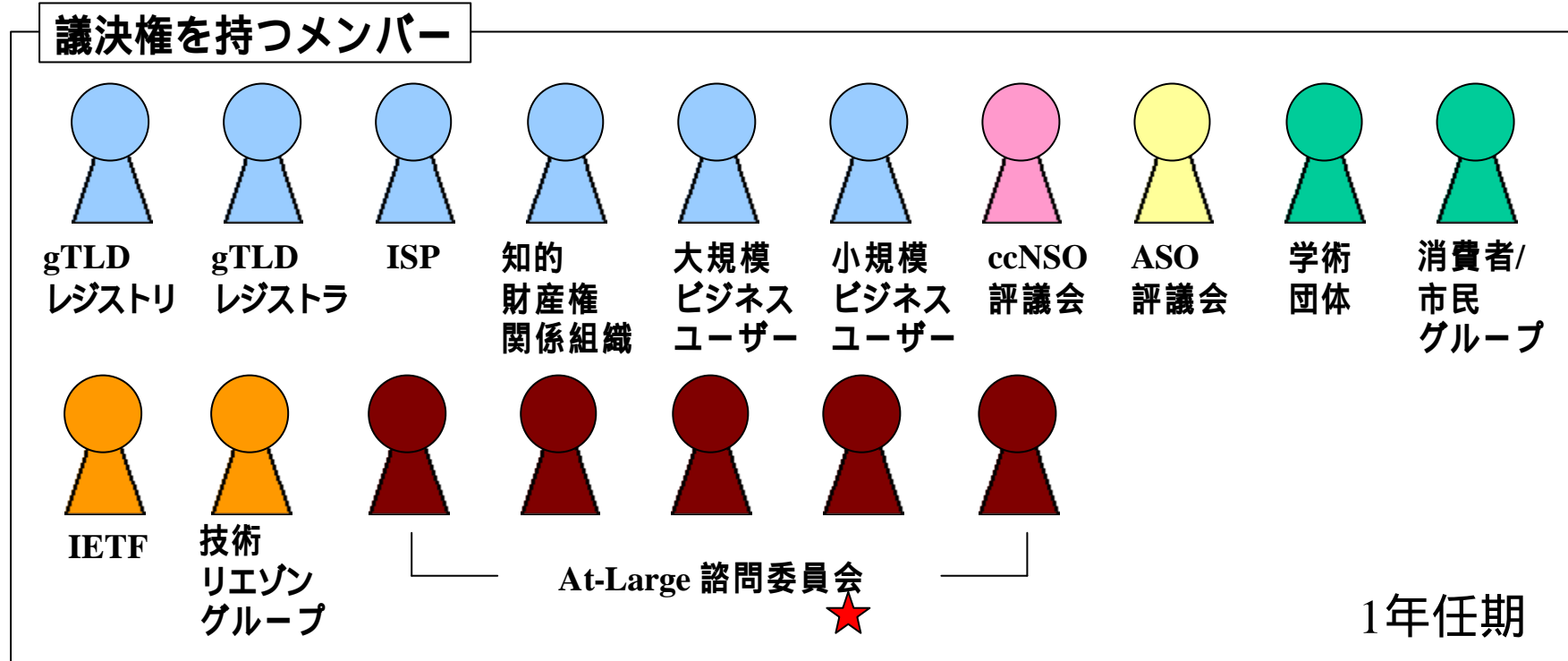


● = 議決権



(GACからの
リエゾン?)

4. 指名委員会の構成



★ = 「青写真」後に追加/変更

5 . At-Large 諮問委員会の構成 (将来の姿)

5つの地域別At-Large組織 (RALO) から各2名、指名委員会から5名選出

